

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロコ琉球教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年2月25日		～ 2026年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの発達段階を、脳の発達に即した評価表で分析し、ステップで改善に向けた支援を提供していること。	スタッフ研修を充実させ、どの職員も脳の発達について学び、質の高い療育が提供できるようにしています。	新しい職員が入社しても、同様の研修を維持し、療育の質を保つよう努めます。
2	保護者との面談、勉強会、親子トレーニングなどを定期的に行い、保護者が家庭療育できるようサポートしていること。	保護者との面談は定期的に設定し、勉強会や親子トレーニングも年間回数回行えるよう企画しています。	今後も同様の頻度で面談、行事を行います。また連絡ノートやラインによるひびのやりとりも丁寧に行います。
3	単なるお預かりではなく、必ず毎回の通室時に一つできることを増やしてお返ししていること。	毎日の課題設定を丁寧に行い、クリアするための手続きや教える方を保護者にも共有しています。	今後もお子さんの社会適応に必要な課題とクリアするための手続きについて研究を重ね、保護者にも共有してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ないこと。	重度の行動障害を抱えているお子さんを多く療育しているため、地域との交流という課題は優先度としては低いことが要因です。	今後もダイナミックリズムや畑作業などの行事で定型発達児との交流を図るほか、地域の保育園や幼稚園にも発達支援の必要性を訴え、合同で勉強会や療育行事を行っていきたいと考えています。
2	施設が小さいこと。	利用者の増加に対し、施設の面積が小さいと考えられます。	新社屋の建設も視野に入れて準備しています。
3	職員の技術習得が難しいこと。	脳の発達や機能分化の理論、療育方法は簡単に習得できるものではなく、研修と実践にある程度の時間がかかることが要因です。	できるだけわかりやすい研修の実施、OJTに努める、技術の高い職員の育成を目指します。